

- 問1 鎌倉時代、源頼朝が全国に設置した「守護」と「地頭」の役割について、正しい説明はどれか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 守護は江戸幕府が藩を監視するために設置し、地頭はキリスト教の取り締まりを主な任務とした。 | 2. 守護は年貢の徴収や土地の管理を専門に行い、地頭は幕府の最高評議機関として政治の指針を決定した。 | 3. 守護は国ごとに置かれて軍事・警察を担い、地頭は荘園や公領ごとに置かれて年貢の徴収などを行った。 | 4. 守護は海外との貿易を管理するために港に置かれ、地頭は全国の戸籍を作成するために村ごとに置かれた。 |
|---|--|--|---|
- 問2 鎌倉時代、東大寺南大門に安置された木造彫刻は、筋肉隆々で写実的な表現がなされており、当時の武士の気風を反映しているとされています。運慶や快慶らが制作した、この力強い彫刻の名称として正しいものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|-----------|----------|------------------|
| 1. 弥勒菩薩半跏思惟像 | 2. 阿弥陀如来像 | 3. 金剛力士像 | 4. 平等院鳳凰堂阿弥陀如来坐像 |
|--------------|-----------|----------|------------------|
- 問3 一遍が興した時宗が、当時の社会において多くの民衆に受け入れられた理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|---|-----------------------------------|---|
| 1. 坐禅によって自分の力で悟りを開く、自力の教えを強調したため。 | 2. 念仏を記したお札を配り、踊りを取り入れるなど、親しみやすい手法を用いたため。 | 3. 山の中での厳しい修行を重視し、精神を鍛えることを説いたため。 | 4. 朝廷や幕府の有力者と結びつき、大規模な寺院を建立することを優先したため。 |
|-----------------------------------|---|-----------------------------------|---|
- 問4 鎌倉時代の歴史的事象を時系列で並べたとき、源頼朝が征夷大將軍に就任した（1192年）後から、御成敗式目が制定される（1232年）までの間に起きた出来事として正しいものはどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. フビライ・ハンが送った大規模な軍隊が、二度にわたって九州北部に襲来し、御家人が防戦にあたった。 | 2. 後鳥羽上皇が幕府を倒そうと挙兵したが、北条氏を中心とする幕府軍に敗北し、隠岐に流された。 | 3. 平氏を滅ぼした功績により、源頼朝が全国の国ごとに守護を、公領や荘園ごとに地頭を置くことを認めさせた。 | 4. 足利尊氏が後醍醐天皇の政治から離反し、京都に光明天皇を立てて武家政権の再興を図った。 |
|--|---|---|---|
- 問5 奈良時代から平安時代にかけて、仏教は国を災害や疫病から守る「鎮護国家」の思想のもとで発展しましたが、鎌倉時代になると、武士や民衆の間で新しい仏教が広く普及しました。この仏教の役割の変化に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---|--|---|
| 1. 厳しい修行や学問を重視し、貴族が国の安泰を祈願する役割を強めた。 | 2. 巨大な寺院を建立し、一族の権力を誇示するための儀式を執り行うことが中心となった。 | 3. 海外との貿易を円滑に進めるため、外国の神を崇拝する教えが主流となった。 | 4. 念仏を唱えるといった簡潔な修行により、個人の救済を目指す役割に変化した。 |
|-------------------------------------|---|--|---|
- 問6 鎌倉幕府において、將軍と直接の主従関係を結んだ武士である御家人の間で行われた、土地の仲立ちによる双務的な関係を何といいますか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|-----------|---------|
| 1. 版籍奉還 | 2. 御恩と奉公 | 3. 寄進地系荘園 | 4. 封建制度 |
|---------|----------|-----------|---------|
- 問7 モンゴル帝国はフビライ・ハンの時代に中国全土を統一しましたが、その際、それまで中国南部を支配していた王朝を滅ぼし、遊牧民族による初の中原（中国の中心部）統一を達成しました。この時、元によって滅ぼされた王朝の名前を次の中から選びなさい。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|------|------|-------|
| 1. 高麗 | 2. 金 | 3. 明 | 4. 南宋 |
|-------|------|------|-------|
- 問8 二度の元寇によって対外的な危機を乗り越えた鎌倉幕府でしたが、その後、幕府の支配力は急速に衰えていきました。その大きな理由として、戦後の対応におけるどのような事情が挙げられますか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 防衛に成功したものの、恩賞として御家人に分け与えるための新たな領地が不足していたこと | 2. 元の文化が流入したことで、武士の間で質素倹約の精神が失われ、贅沢な生活が広まったこと | 3. 多くの御家人が自らの土地を幕府に寄進し、幕府が土地の管理に追われて統治が疎かになったこと | 4. 武士の生活の基準となる法典である御成敗式目が制定され、幕府の権限が制限されたこと |
|---|---|---|---|
- 問9 現在の山口県下関市の南端に位置する壇ノ浦は、源平合戦の最後の舞台となった地です。この地で平氏が滅亡するまでの様子を記した物語の名称と、その作品の種類として正しい組み合わせはどれですか。 (2016年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|---------------|
| 1. 平家物語 — 軍記物語 | 2. 土佐日記 — 日記文学 | 3. 源氏物語 — 作り物語 | 4. 太平記 — 軍記物語 |
|----------------|----------------|----------------|---------------|
- 問10 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵を挙げた「承久の乱」ののち、幕府が朝廷の動きを常に監視し、あわせて西国の武士を統制するために京都に設置した機関として正しいものを、次から選びなさい。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|--------|----------|
| 1. 管領 | 2. 六波羅探題 | 3. 大宰府 | 4. 京都所司代 |
|-------|----------|--------|----------|
- 問11 一二二一年に起きた承久の乱について、この出来事が起こされた目的と、中心となった人物の組み合わせとして最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 平清盛が、武士として初めて太政大臣になり政治の実権を握るために兵を挙げた。 | 2. 北条時宗が、元軍の襲来に備えて全国の武士を統制するために命令を出した。 | 3. 後醍醐天皇が、足利尊氏と協力して鎌倉幕府を倒すために兵を挙げた。 | 4. 後鳥羽上皇が、北条氏から朝廷の実権を取り戻すために兵を挙げた。 |
|--|--|-------------------------------------|------------------------------------|
- 問12 「祇園精舎の鐘の声」という書き出しで始まり、平氏の繁栄と没落を描いた鎌倉時代の軍記物語はどれか。 (2016年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|--------|
| 1. 源氏物語 | 2. 平家物語 | 3. 太平記 | 4. 枕草子 |
|---------|---------|--------|--------|
- 問13 鎌倉時代に宋から伝えた禅宗の一派は、当時の幕府や武士から厚い保護を受け、急速に広まりました。このように、禅宗が武士層に受け入れられた背景として、その教えや修行のあり方を説明したものとして最も適切なものを選んでください。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 踊りながら念仏を唱えることで集団の連帯感を高める形式が、戦場での団結に役立つと考えられたため。 | 2. 貴族社会とのつながりが深く、加持祈祷によって幕府の安泰や外敵の退散を祈る儀式が重視されたため。 | 3. 座禅によって自己の精神を鍛錬し、悟りを開こうとする厳しい修行が、武士の気風に合致したため。 | 4. 「南無阿弥陀仏」という念仏を唱えるだけで救われるという簡潔な教えが、多忙な武士の生活に適していたため。 |
|--|--|--|--|
- 問14 鎌倉時代の御家人の間で行われていた、父親の領地を複数の子に分けて引き継がせる仕組みについて述べた説明として、最も適切なものはどれですか。なお、この仕組みでは、世代を重ねるごとに個々の御家人が持つ領地が小さくなるという特徴がありました。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 領地が細分化されることで、農業の生産効率が劇的に向上した。 | 2. 幕府が領地を一度回収し、功績のある別の武士へ再分配した。 | 3. 個々の領地が縮小し、御家人が経済的に困窮する原因となった。 | 4. 長男のみがすべてを継ぐことで、一族の領地と勢力が維持された。 |
|----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|